

フランス語講読Ⅱ

科目ナンバリング FRE-206

必修 1単位

鵜飼 敦子

1. 授業の概要(ねらい)

フランス人はどのように「ニッポン」を見ているのか?そんな観点から選んだフランス語で書かれた文章を読みます。現代の東京について書かれた観光ガイド、日本の伝統文化を紹介する文章など、旅行記、映画、アート、モード、という様々なトピックについて、プレゼンテーション形式の発表を交えながら、フランス語で書かれた文章の講読をします。

2. 授業の到達目標

フランス語で書かれた平易な文章を、辞書なしで読めるようになることが目標です。また、日本の文化や伝統を外国語で紹介することは、旅行や留学先で必要となります。そこからみた「ニッポン」をたどることにより、自分をとりまく環境を相対化して、それまでとは異なる視点で自国の文化を見なおすことが可能となります。講読して翻訳した文章を分かりやすい日本語で書くという訓練もおこないます。

3. 成績評価の方法および基準

プレゼンテーション:30%

出席点:30%

試験:40%

出席点に関しては、遅刻2回で欠席1回扱いになります。3回以上欠席した場合減点が始まります。欠席5回で単位取得不可となりますので注意してください。

4. 教科書・参考文献

教科書

指定なし。講読内容はその都度、準備したものを授業内に配布します。

参考文献

参考文献については、授業内で適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

授業には、必ず辞書を持参すること。あらかじめ決められた講読担当箇所のプレゼンテーションをおこなってもらうことがありますので、予習が必要となります。

6. その他履修上の注意事項

初級フランス語をすでに学んでいる学習者を対象とした授業です。学習に支障をきたすので、遅刻には気をつけること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーションと比較・関係文化史について
- 【第2回】 クール・ジャパンとは?
- 【第3回】 パリのジャパンエキスポについて
- 【第4回】 ジャポニスム2018について学ぶ
- 【第5回】 フランスの工芸と日本の工芸
- 【第6回】 19世紀のフランスから見たニッポン
- 【第7回】 旅行記にあらわれるニッポン
- 【第8回】 フランス語で読むニッポン①古典芸能を読む
- 【第9回】 フランス語で読むニッポン②講読発表
- 【第10回】 フランス語で読むニッポン③観光ガイドを読む
- 【第11回】 フランス語で読むニッポン④講読発表
- 【第12回】 フランス語で読むニッポン⑤映画を読む
- 【第13回】 フランス語で読むニッポン⑥講読発表
- 【第14回】 フランス語で読むニッポン⑦復習とまとめ
- 【第15回】 復習と試験